

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 6. 行政経営

(基本施策) (2) 財産・情報の適正な管理・活用

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

基本施策が目指す姿

市の財産と情報が、適切に管理されています。

関連する分野別計画

亀山市ICT活用計画、亀山市公共施設等総合管理計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	施設の統廃合を決定した公共施設数(累計)	施設	—	H28	2	0				3
2	オープンデータの公開データセット件数	件	0	H28	0	38				20
3										
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	市の窓口やサービスが利用しやすい	重要度 1.40	1.34		
		満足度 0.14	0.19		
2	行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている(再掲)	重要度 0.97	0.91		
		満足度 0.08	0.17		
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	「行政情報の適切な管理」ではシステムのクラウド化拡充、職員配布パソコンの更新、行政情報のオープンデータ化と概ね順調に事業を進めていることからBとしている。公有財産の効率的な活用では、公共施設等総合管理計画の基本方針に沿った個別施設計画の策定に取り組んだものの、策定にまでは至らなかったことから、それぞれ個別判定をBとしている。新庁舎建設の推進では、基本構想の策定を行うなど順調に進んでいることから、個別判定をAとしている。

反省点・課題

「行政情報の適切な管理」について、マイナンバーカードを活用した行政サービスの提供について、具体的な取り組みを進めていく必要がある。行政情報のオープンデータ化については、内容の更なる充実が必要であるとともに、市民にいかに関わりやすく提供するかが課題である。公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定については、令和元年度中の策定を目指しているため関係部署との早期の調整・取りまとめが必要である。更に、新庁舎建設では、基本構想に基づき、基本計画を策定することから市民等の意見を取り入れながら取り組む必要がある。

今後の展開方針

マイナンバーカードの活用については、コンビニでの証明書交付について進めるとともに、活用の拡充を検討していく。今後も亀山市ICT活用計画の適切な進捗管理を行っていく。行政情報については、広報、CATV、ホームページなど多様な媒体による市民へのわかりやすい情報提供手法について検討を行う。公有財産については、施設の統廃合などの具体的な計画を検討し、効率的・効果的な活用及び維持管理に努める。また、新庁舎の建設については、令和元年度・2年度に基本計画の策定を行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		行政情報の適切な管理					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 亀山市ICT活用計画に基づき、行政情報システムのクラウド化の拡充や職員に配布しているパソコンの更新を行うとともに、行政情報オープンデータの運用を開始することができた。また、情報セキュリティ研修、マイナンバー制度研修、ICT活用研修などの職員研修を実施し、行政情報管理の職員意識の向上に努めた。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 行政情報システムのクラウド化や行政情報オープンデータ化の推進、マイナンバーカードの活用、公文書の取扱い等について、一部検討段階にあるものもあるが、概ね順調に進めることができたことから、行政情報の安全性の確保や活用、職員意識の向上について、まずは施策推進が図れている。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17102	行政情報システム事業(住民情報系)	主	98,295 / 95,785		B	B
	17103	行政情報システム事業(内部情報系)	主	64,508 / 62,273		B	B
	2128	行政情報化推進研修事業	標	2,116 / 2,115		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		公有財産の効率的・効果的な活用					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 公共施設等総合管理計画の基本方針に沿って個別施設計画の策定に向け、関係部署と協議を行った。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 個別施設計画の具体案の作成には至らなかったが、公共施設の複合化や集約の必要性について共通認識を図ることができた。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
				/			
				/			
事業以外の取組	内容					活動	成果
	個別施設計画策定に向けての協議					B	B

施策の方向		新庁舎建設の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 現庁舎の課題・問題点を整理しながら、新しい庁舎に必要な機能や規模などの基本的な考え方を示す「基本構想」を策定した。 一方、庁舎建設基金は着実に積み立て、基金残高は11億5,000万円となった。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 「亀山市新庁舎建設基本構想」を策定したことで、次年度に着手する「基本計画」策定に繋げることができた。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	12018	庁舎建設基金積立事業	標	50,000 / 50,000		A	A
				/			
事業以外の取組	内容					活動	成果
	新庁舎建設基本構想の策定					A	A